



Cisco Configuration Assistant スタートアップガイド

バージョン 1.5

【注意】この文書はお客様の便宜のために作成された参考和訳であり、お客様とシスコシステムズとの間の契約を構成するものではありません。正式な契約条件は、弊社担当者、または弊社販売パートナーにご確認ください。

本書に記載されている製品の仕様と情報は、予告なく変更される場合があります。本書内の記述、情報、および推奨事項は、すべて正確なものと考えられ、提示されていますが、明示か暗黙かを問わず、どのような保証もされていません。製品の使用についてはすべて、ユーザの責任となります。

製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に同梱される情報パッケージに記録され、この記述の内容が本書に適用されます。ソフトウェア ライセンスもしくは限定保証書が見つからない場合は、シスコの代理店にお問い合わせして入手してください。

シスコが導入する TCP ヘッダ圧縮は、カリフォルニア大学バークレー校 (UCB) により、UNIX オペレーティングシステムの UCB パブリック ドメインバージョンの一部として開発されたプログラムを適応したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

本書におけるその他の保証にもかかわらず、シスコの代理店が提供するドキュメント ファイルおよびソフトウェアはすべて、すべての欠陥に対して「無保証」で提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

シスコまたはその代理店は、本書の使用または使用不能から発生する逸失利益、もしくはデータの損失または損傷を含みますが、これらに限定されることなく、すべての間接的、特別、二次的、または偶発的な損害に対して、シスコまたはその代理店がこの損害の可能性を通知されていた場合であっても、責任を負うものではありません。

CCVP, the Cisco Logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

Cisco Configuration Assistant スタートアップガイド

Copyright © 2008 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



CONTENTS

はじめに	v
対象読者	v
目的	v
ドキュメントの入手とサービス リクエストの送信	v

CHAPTER 1

Configuration Assistant とは	1-1
コミュニティの特性	1-2
コミュニティの表示	1-2

CHAPTER 2

GUI の機能	2-1
トポロジ ビュー	2-2
前面パネル ビュー	2-3
メニューバー、ツールバー、および機能バー	2-4
メニューバー	2-4
機能バー	2-4
ツールバー	2-5
対話モード	2-8
ガイド モード	2-8
エキスパート モード	2-9
スマートポート	2-9
特権レベル	2-9
アプリケーション更新	2-9
オンライン ヘルプ	2-10

CHAPTER 3

インストール、接続、およびセットアップ	3-1
インストールの要件	3-1
Configuration Assistant のインストール	3-2
Configuration Assistant の接続	3-2
デバイスのセットアップ	3-3
イベント通知	3-3

CHAPTER 4

コミュニティの計画と作成	4-1
コミュニティの計画	4-1
メンバおよび候補の特性	4-1

コミュニティ デバイスの制限	4-1
候補とメンバの自動検出	4-2
コミュニティ名	4-2
ホスト名	4-2
パスワード	4-2
通信プロトコル	4-3
コミュニティの情報	4-3
コミュニティの作成	4-4
デバイスのグループの追加	4-4
一度に1つのデバイスの追加	4-4
コミュニティの確認	4-4



はじめに

対象読者

このマニュアルは、GUI を使用して Cisco Smart Business Communication System のスタンドアロンのネットワーク デバイスやデバイスのグループを管理するシステム管理者およびネットワーク管理者を対象としています。このマニュアルでは、Cisco Configuration Assistant をソリューションとして紹介します。

目的

このマニュアルの目的は、Configuration Assistant を使用するユーザを支援することです。マニュアルは次の章で構成されています。

概要：Configuration Assistant の特性と機能

GUI の機能：Configuration Assistant を使用したデバイスおよびネットワークの管理方法

インストール、接続、およびセットアップ：ワークステーションへの Configuration Assistant のインストール方法、デバイスまたはコミュニティへの接続方法、および管理対象とするデバイスをセットアップする方法

コミュニティの計画と作成：コミュニティの計画および作成の概念と手順

ドキュメントの入手とサービス リクエストの送信

ドキュメントの入手、サービス リクエストの送信、および追加情報の収集については、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。このドキュメントでは、新規および改訂されたすべての Cisco 技術ドキュメントの一覧も掲載されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』の Really Simple Syndication (RSS) に登録すれば、リーダー アプリケーションを使ってデスクトップに直接配信されるようにコンテンツを設定できます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコでは、現在 RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



Configuration Assistant とは

Configuration Assistant は、スタンドアロンのデバイスやデバイス グループ (コミュニティと呼ぶ) を、イントラネット上の任意の場所から管理するために使用できるアプリケーションです。Configuration Assistant のグラフィカル インターフェイスを使用して、次の操作を実行できます。

- Catalyst Express 520 スイッチ、Cisco Unified Communications 500 シリーズ プラットフォーム、Cisco 526 Wireless Express モビリティ コントローラ、および Cisco 521 Wireless Express アクセス ポイントのセットアップ
- ポート接続の迅速な設定
- コミュニティの IP テレフォニー機能の設定
- IP 音声デバイスでのテレフォニー ライセンスの管理
- ネットワーク アドレス変換、バーチャル プライベート ネットワーク、およびファイアウォールのセットアップ
- 無線セキュリティおよび無線ゲスト アクセスを含むコミュニティの無線 LAN 機能の設定
- ネットワークセキュリティの監査
- トポロジ マップでのコミュニティ全体の表示
- コミュニティ メンバの前面パネルの表示
- デバイスのステータス、帯域幅、およびリンクの監視
- インベントリと統計情報のレポートの表示
- デバイス上のソフトウェアのアップグレード

これらのタスクのいずれかを実行するには、「[機能バー](#)」の項 (P.2-4) に示す Configuration Assistant の機能バーから該当する機能を選択します。

コミュニティの特性

コミュニティには、最大 25 の接続されたネットワーク デバイスを含めることができます。各デバイスには、IP アドレスが割り当てられている必要があります。Configuration Assistant では、Cisco Discovery Protocol (CDP; シスコ検出プロトコル) による自動検出機能を使用して、適切なネットワーク デバイスを検出し、コミュニティに追加できます。デバイスで CDP が有効になっていない場合でも、コミュニティを作成してデバイスに手動で追加できます。

コミュニティを作成する主な理由は、コミュニティでは、デバイスの物理的な位置およびデバイスにインストールされているソフトウェアに関係なく、同じ論理グループで Cisco デバイスを管理できるということです。複数のコミュニティを作成、変更、削除、および管理できます。

Configuration Assistant では、コミュニティ内のすべてのメンバと安全に通信できます。あるコミュニティ メンバに障害が発生しても、他のメンバを引き続き管理できます。

ほとんどのタイプのネットワーク デバイス (ルータ、スイッチ、および無線 LAN コントローラ) はコミュニティに所属できます。使用できるデバイスの詳細な一覧は、リリース ノートを参照してください。コミュニティの作成方法の詳細は、第 4 章「[コミュニティの計画と作成](#)」を参照してください。

コミュニティの表示

Configuration Assistant では、コミュニティを次の 2 つの方法でグラフィカルに表示できます。

- **トポロジ ビュー。**メンバ デバイス、隣接デバイス、デバイスのステータス、デバイスのプロパティ、およびリンク情報を表示します。
- **前面パネル ビュー。**デバイスおよびポートのステータスをリアルタイムに監視し、多数の設定タスクを実行できます。このビューでのデバイスおよびポート LED は、物理的なデバイスおよびポート LED と外観が似ています。

これらのビューの例を表示するには、「[トポロジ ビュー](#)」の項 (P.2-2) および「[前面パネル ビュー](#)」の項 (P.2-3) を参照してください。



GUI の機能

Configuration Assistant を使用すると、コミュニティの異なるビュー、メニューバー、ツールバー、機能バー、デバイス設定用の 2 つのモード、および包括的なオンライン ヘルプにより、コミュニティの管理が簡略化されます。図 2-1 に、GUI の主な機能を示します。

図 2-1 Configuration Assistant の GUI



1	ツールバー	3	トポロジビュー
2	機能バー	4	前面パネルビュー

以降のセクションで、Configuration Assistant の機能について説明します。

トポロジビュー

Configuration Assistant がスタンドアロン デバイスまたはコミュニティに接続している場合、デフォルトではトポロジビューが表示されます。このデフォルトを変更した場合、ツールバーのトポロジビューのアイコンをクリックするか、[モニタ] > [ビュー] > [トポロジ] を選択することにより、トポロジビューを表示できます。

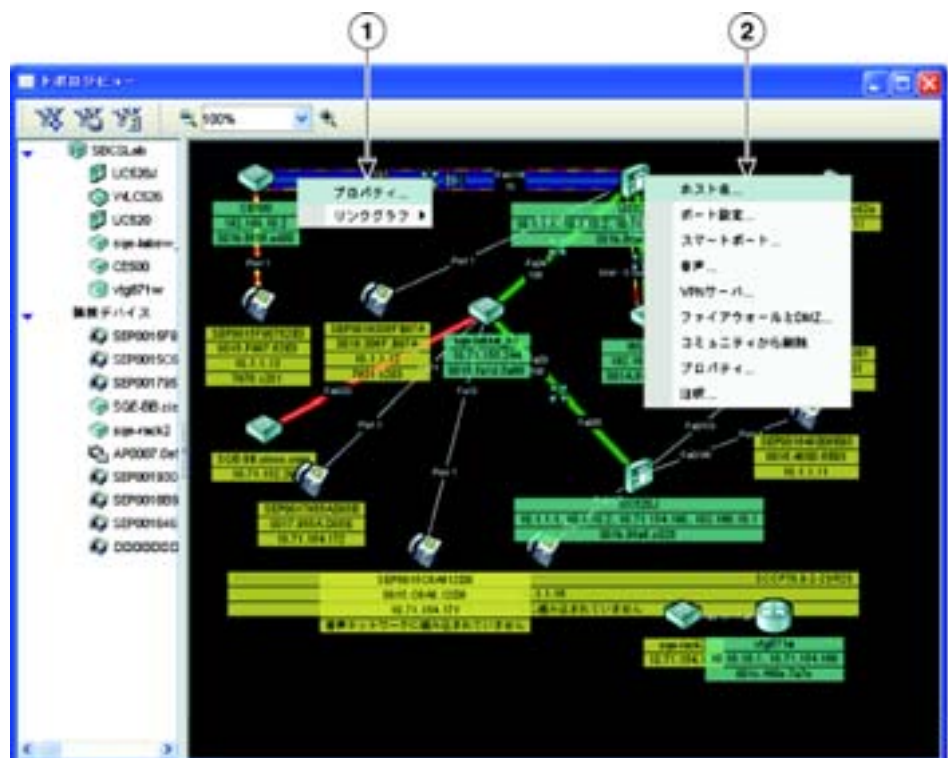


(注) [アプリケーション] > [環境設定] > [ネットワーク接続時に前面パネルビューを表示する] を選択することにより、デフォルトで前面パネルビューが表示されるよう、Configuration Assistant の環境設定を変更できます。Configuration Assistant でデフォルトでトポロジビューが表示されないようにするには、[ネットワーク接続時にトポロジビューを表示する] の選択を解除します。

トポロジビューには、コミュニティにおけるデバイスの接続状況が表示されます。コミュニティ内の VLAN リンクを強調表示して表示することもできます。隣接デバイスをコミュニティのメンバにすることも、メンバを削除することもできます。

図 2-2 に示すトポロジビューの例では、コミュニティ、隣接デバイス、およびデバイスまたはリンクのアイコンを右クリックすると表示されるポップアップ ウィンドウを示しています(開くことのできるポップアップ ウィンドウは一度に 1 つだけです)。

図 2-2 トポロジビューとポップアップ ウィンドウ



1	リンクのポップアップ ウィンドウ	2	デバイスのポップアップ ウィンドウ
---	------------------	---	-------------------

前面パネルビュー

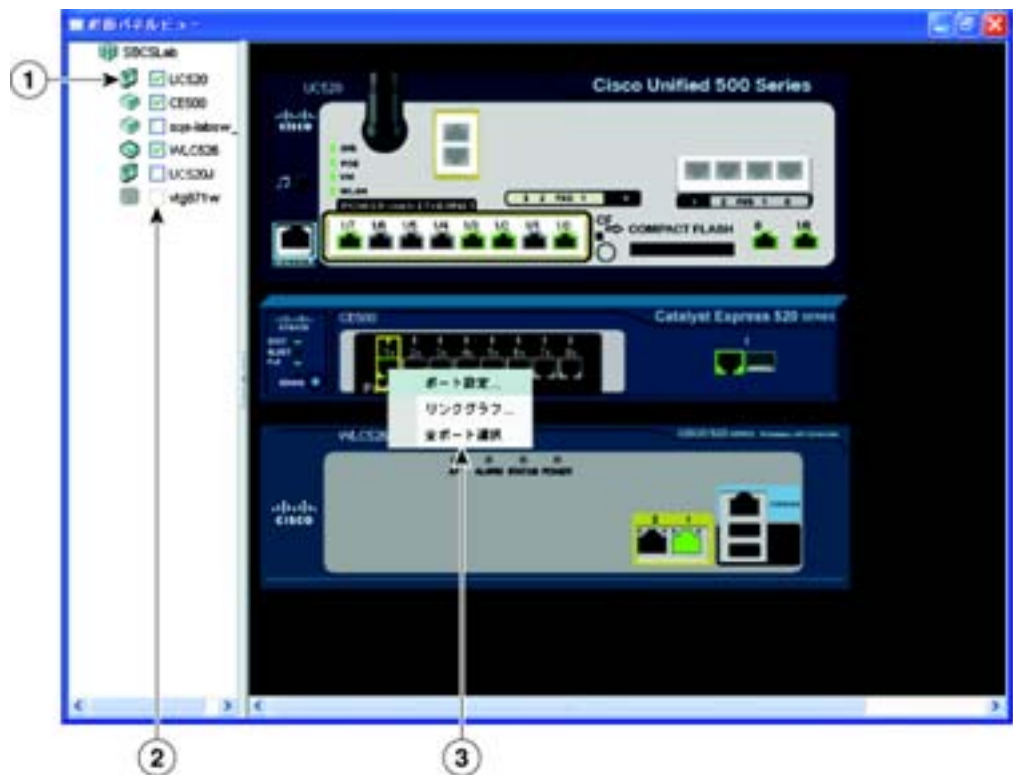
Configuration Assistant がスタンドアロン デバイスまたはコミュニティに接続されている場合、ツールバーの [前面パネル] をクリックするか、または機能バーで [モニタ] > [ビュー] > [前面パネル] を選択することにより、前面パネル ビューを表示できます。スタンドアロン デバイスまたはコミュニティ メンバの前面パネルのイメージを確認できます。ビューの左側のペインはツリー構造になっています。そこから、右側のペインで表示するデバイスを選択できます。

前面パネル ビューでは次の操作を実行できます。

- 表示されているデバイスをドラッグして再配置する。
- デバイスを選択して設定する。
- ポートを右クリックして設定する。
- 同一デバイスまたは異なるデバイスから複数のポートを選択し、それらのポートを同時に設定する。

図 2-3 は、コミュニティと、そのメンバである Unified Communications 500 シリーズ プラットフォーム、Catalyst Express 520 スイッチ、526 WLAN コントローラを示しています。

図 2-3 前面パネル ビューとポートのポップアップ ウィンドウ



1	メンバ デバイス	3	設定のポップアップ ウィンドウ
2	表示するデバイスを選択するためのチェックボックス		

メニューバー、ツールバー、および機能バー

メニューバーには、Configuration Assistant 自体を設定するためのオプションがあります。機能バーには、スタンドアロン デバイスまたはコミュニティを設定、監視、トラブルシューティング、および監視するための機能が表示されます。ツールバーには、頻繁に使用する Configuration Assistant の機能とイーサネットの機能の組み合わせが表示されます。

メニューバー

メニューバーには、Configuration Assistant の管理、ウィンドウ間の移動、オンライン ヘルプへのアクセスに使用する次のオプションが用意されています。

- アプリケーション：印刷オプションの選択、対話モードの選択、ユーザ環境設定の設定、Configuration Assistant の更新の検索とインストール、機能バーの表示と非表示の切り替え、コミュニティの作成と変更、およびシステム メッセージ通知の要求を行います。
- ウィンドウ：開いている Configuration Assistant ウィンドウに移動します。
- ヘルプ：オンライン ヘルプを起動します。

機能バー

機能バーには、管理しているデバイスで使用可能なイーサネットの機能が表示されます。デフォルトでは、機能バーは標準モードです。このモードでは、機能バーは常に表示されており、ユーザがその幅を調節できます。自動非表示モードでは、機能バーは、ユーザが Configuration Assistant の作業スペースの左端にカーソルを移動したときにのみ表示されます。

- 機能バーを標準モードで表示するには、[アプリケーション] > [機能バー] をクリックし、[標準モード] を選択します。
- 機能バーを非表示にするには、[アプリケーション] > [機能バー] をクリックし、[自動非表示モード] を選択します。

図 2-4 は、機能バーを示しています。

図 2-4 機能バー



機能はメニューの下にグループ化されます。メニュー項目をクリックすると、その機能の設定ウィンドウが表示されます。

機能が使用可能かどうかはアクセスモードに依存します。一部の機能は読み取り専用モードでは使用できません。アクセスモードが Configuration Assistant に与える影響の詳細は、「[特権レベル](#)」の項 (P.2-9) を参照してください。




ツールバー

ツールバーには、頻繁に使用する設定オプション、および凡例やオンラインヘルプなどの情報ウィンドウのアイコンやボタンが表示されます。表 2-1 は、ツールバーのオプションを、ツールバーの左から右の順に一覧で示しています。

表 2-1 ツールバーのアイコンとボタン

ツールバーのオプション	アイコン	タスク
接続		Configuration Assistant をスタンドアロン デバイスまたはコミュニティに接続します。
更新		ビューを最新のステータスに更新します。
印刷		Configuration Assistant ウィンドウまたはヘルプ トピックを印刷します。
環境設定		Configuration Assistant の表示プロパティの設定、Configuration Assistant の接続時に表示するビューの選択、および Configuration Assistant による更新の検索頻度の選択を行います。
設定の保存 ¹		管理デバイスの実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションに保存します。
音声		音声による通信のオプションを設定します。
VPN サーバ		VPN サーバを設定し、デバイスにセキュリティ ポリシーを送信します。
ファイアウォールと DMZ		ファイアウォールを設定し、DMZ を作成します。
ワイヤレス ネットワーク		WLAN コントローラおよびそれに関連付けられたアクセスポイント上のセキュリティ機能を設定します。
スマートポート ¹		ネットワーク ポート接続の重要なセキュリティ、可用性、および管理性に関する機能をすばやく設定します。
ポート設定 ²		デバイスのポート パラメータを表示および設定します。
インベントリ		デバイス タイプ、ソフトウェア バージョン、IP アドレス、およびコミュニティ内のすべてのアクティブなデバイスに関するその他の情報を表示します。
状態		管理デバイスの状態を示す測定値を監視します (WLAN コントローラ、および Aironet 自律型アクセスポイントを除く)。
イベント通知		ネットワークおよびデバイスのイベントに関するメッセージを表示します。
前面パネル		前面パネル ビューを表示します。
トポロジ		トポロジ ビューを表示します。
凡例		アイコン、レベル、リンクを説明する凡例を表示します。

表 2-1 ツールバーのアイコンとボタン (続き)

ツールバーのオプション	アイコン	タスク
アクティブウィンドウのヘルプ		アクティブで開いているウィンドウに関するヘルプ トピックを表示します。アクティブなウィンドウで、[ヘルプ] をクリックするか、F1 キーを押すことによっても、ヘルプを表示できます。
フィードバック		Configuration Assistant のユーザの操作性に関するフィードバックを記入することのできる Web ページを開きます。
検索		ツールバーの右側のフィールドに用語を入力し、[検索] ボタンをクリックすると、その用語をオンライン ヘルプ内で検索できます。

1. 読み取り専用モードでは使用できません。読み取り専用アクセス モードと読み書きアクセス モードの詳細は、「[特権レベル](#)」の項 (P.2-9) を参照してください。
2. このメニュー オプションの一部のオプションは、読み取り専用モードでは使用できません。

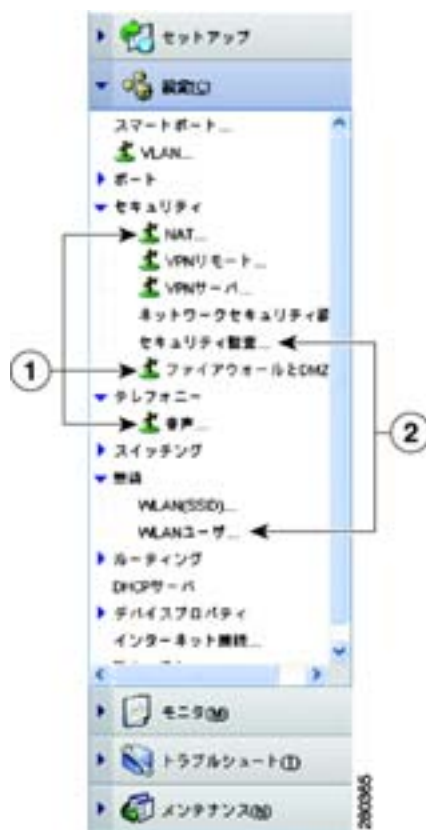
対話モード

Configuration Assistant GUI との対話に使用するモードには、ガイドモードとエキスパートモードの2つがあります。ガイドモードでは、ヘルプ情報とともに機能オプションが一度に1つの手順ずつ表示されます。エキスパートモードでは、機能を設定するためのオプションがすべて1つのウィンドウに表示されます。ヘルプを表示するには、ウィンドウ内で [ヘルプ] をクリックします。

ガイドモード

Configuration Assistant は、デフォルトではエキスパートモードです。[アプリケーション]メニューで [ガイド] を選択し、道しるべのアイコン (図 2-5 を参照) が付いた機能を選択した場合、設定手順が順番に表示されます。これをガイドモードと呼びます。このアイコンが付いていない機能を選択した場合は、設定ウィンドウがエキスパートモードで表示されます。

図 2-5 ガイドモードとエキスパートモードの例



1	ガイドモードとエキスパートモードで使用できる機能の例	2	エキスパートモードのみを使用できる機能の例
---	----------------------------	---	-----------------------

ガイドモードは、スイッチのアクセスレベルが読み取り専用の場合は使用できません。読み取り専用アクセスモードの詳細は、「[特権レベル](#)」の項 (P.2-9) を参照してください。

エキスパート モード

すべての機能に対して設定ウィンドウを表示したい場合は、[アプリケーション]メニューで[エキスパート]を選択します。機能バーに道しるべのアイコン付きで表示されている機能であっても、エキスパートモードで表示されます。再びガイドモードに変更するには、[アプリケーション]メニューで[ガイド]を選択します。

エキスパートモードでガイドモードの機能を起動するには、[エキスパート]を選択してから、機能を選択します。

スマートポート

Configuration Assistant は、スマートポートを使用してデバイス接続の設定をしていないことを検出すると、[イベント通知]ウィンドウ内でその情報を表示します。デバイス接続は、手動でも、Configuration Assistant による推奨に基づいても設定できます。[スマートポート]ウィンドウを開いて、適用するロールを選択するか、またはスマートポートを使用して推奨されるロールを適用します。スマートポートについての詳細は、オンラインヘルプを参照してください。

特権レベル

Configuration Assistant には、設定オプションに対するアクセスタイプとして、読み書きおよび読み取り専用の2つが用意されています。ユーザのアクセスタイプは、割り当てられている特権タイプ(1~15)によって決まります。レベル15では、読み書きアクセスが付与されます。レベル1~14は読み取り専用アクセスです。これらのレベルでは、Configuration Assistant ウィンドウに表示されている設定を変更することはできません。

デフォルトでは、Configuration Assistant は特権レベル15でユーザをログオンさせようとしています。ただし、通常これには、適切なユーザ名とパスワードでユーザが認証プロセスを通過することが求められます。下位のレベルには、通常この要求はありません。



(注) TACACS+またはRADIUSサーバ経由でConfiguration Assistant にアクセスするには、特権レベル15が必要です。

アプリケーション更新

Configuration Assistant では、更新が入手可能かどうか Cisco.com を検索できます。検索を行うには、次のいずれかの操作を実行します。

- [アプリケーション]>[環境設定]を選択し、[環境設定]ウィンドウを使用して毎週または毎月自動検索を行うよう設定する。
- [アプリケーション]>[アプリケーション更新]を選択し、更新の検索を即座に実行する。

更新が検出された場合、Configuration Assistant を使用してインストールできます。

オンライン ヘルプ

Configuration Assistant には、セットアップ、設定、モニタリング、トラブルシューティング、メンテナンスのタスクについて説明する包括的なオンライン ヘルプが用意されています。

ヘルプ トピックの情報は、デバイスによって異なる場合があります。このような場合、[ヘルプ] ウィンドウの右側のペインにトピックのすべてのバージョンが表示され、適用されるデバイスのホスト名がそれぞれにラベル付けされています。

オンライン ヘルプには次の機能が含まれます。

- ネットワーキング機能の背景的情報を提供する概念のヘルプ
- タスクの実行手順を説明するウィンドウ ヘルプ
- オンライン ヘルプの件名の索引
- オンライン ヘルプで入力した件名を検索するタブ
- オンライン ヘルプで使用されている用語の用語集



インストール、接続、およびセットアップ

この章では、Configuration Assistant のインストールの要件、インストール方法、デバイスまたは既存のコミュニティへの接続方法、およびデバイス管理のためのセットアップ方法について説明します。

インストールの要件

Configuration Assistant をインストールする PC は、次の最小要件を満たしている必要があります。

- プロセッサ速度：1 GHz
- DRAM：最小 512 MB、良好なパフォーマンスを得るには 1,024 MB を推奨
- ハードディスクの空き容量：アプリケーション自体に必要な容量は 150 MB、300 MB を推奨
- 色数：65,536
- 解像度：1,024 x 768
- フォントサイズ：小

Configuration Assistant は、次のオペレーティング システムでサポートされます。

- Windows Vista Ultimate
- Windows XP Service Pack 1 以降

64 ビット版 Windows ではテストされておらず、正式にはサポートされていません。Configuration Assistant で必要なログ ファイルやプリファレンス ファイルを作成できるように、ユーザのホーム ディレクトリや Configuration Assistant インストール ディレクトリへの書き込み権限が必要になります。

Configuration Assistant のインストール

Configuration Assistant を PC にインストールするには、次の手順に従います。

1. 次の Web サイトにアクセスします。 <http://www.cisco.com/go/configassist>
Cisco.com の登録ユーザである必要がありますが、その他のアクセス権は必要ありません。
2. Configuration Assistant のインストールファイルを見つけます。
3. Configuration Assistant インストーラをダウンロードし、実行します (Web サイトから直接実行するという方法がブラウザで提示された場合は、その方法を選択できます)。
Configuration Assistant は無料です。ダウンロード、インストール、使用のいずれにも料金はかかりません。
インストーラを実行するときは、表示される指示に従います。最後の画面で、[終了] をクリックして、Configuration Assistant のインストールを完了します。

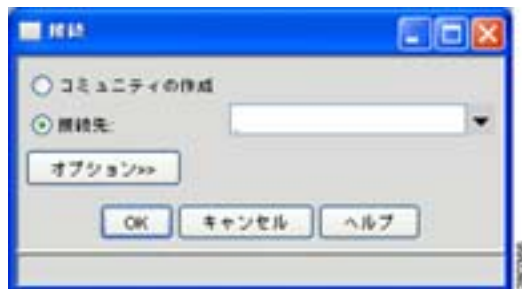
Configuration Assistant をインストールすると、デスクトップに Configuration Assistant のアイコン、[スタート] メニューに Configuration Assistant のショートカット、および [スタート] > [プログラム] の下に Configuration Assistant のエントリがそれぞれ作成されます。これらのいずれかをクリックすると、Configuration Assistant の GUI の一部分と [接続] ウィンドウが表示されます。

非接続モードでは、Configuration Assistant はデバイスまたはコミュニティに接続されず、スタンドアロン デバイスまたはコミュニティを管理できません。メニューバーおよびツールバーでサポートされるのは、Configuration Assistant 自体をカスタマイズするためのタスクのみです。通常はデバイスの機能が表示される機能バーには、何も表示されません。

Configuration Assistant の接続

Configuration Assistant をスタンドアロン デバイス、既存のコミュニティ、または新規のコミュニティに接続できます。これらの接続すべてに対し、[図 3-1](#) に示す [接続] ウィンドウを使用します。[接続先 :] ボタンおよびそのプルダウン メニューは、デバイスおよび既存のコミュニティへの接続に使用します。コミュニティの作成方法の詳細は、「[コミュニティの作成](#)」の項 (P.4-4) を参照してください。

図 3-1 [接続] ウィンドウ



接続が確立されると、Configuration Assistant のウィンドウは接続モードになります。ツールバーには、デバイスの機能を示すアイコンが追加されます。同様に機能バーには、Configuration Assistant が提供するイーサネット機能のメニューが表示されます。

デバイスのセットアップ

新しいデバイスや、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされたデバイスは、セットアップする必要があります。この作業には、デバイスの設定ウィザードを使用します。これにより、Configuration Assistant での管理のためにデバイスを準備できます。ウィザードを起動するには、機能バーの[セットアップ] を選択して、[デバイスの設定ウィザード] をクリックします。

このウィザードは、未接続モードでも機能バーから選択できます。

イベント通知

Configuration Assistant は、ステータスバーとトポロジ ビューのデバイスの下にイベント アイコンを表示することにより、検出したイベントをユーザに通知します。イベント アイコンをクリックすると [イベント通知] ウィンドウが表示されます。イベントの説明が表示され、可能な場合には必要な処置を施すためのウィンドウに移動できるようになります。

未接続モードでイベントの通知があった場合は、機能バーの[モニタ] を選択して [イベント通知] をクリックすることで、[イベント通知] ウィンドウを開くことができます。



コミュニティの計画と作成

この章では、Configuration Assistant を使用してコミュニティを計画および作成する概念と手順について説明します。Configuration Assistant を使用してコミュニティを設定する方法の詳細は、オンライン ヘルプを参照してください。

コミュニティの計画

このセクションでは、コミュニティを作成するにあたって理解しておく必要のあるガイドライン、要件、および注意事項について説明します。

メンバおよび候補の特性

メンバとは、コミュニティに属するネットワーク デバイスを指します。候補は、コミュニティに属さないネットワーク デバイスです。

コミュニティに加入するには、候補が次の条件を満たす必要があります。

- Configuration Assistant でサポートされている。
- IP アドレスがある。
- デフォルト ポートで HTTP または HTTPS に対応している。

コミュニティ デバイスの制限

次のデバイス タイプを組み合わせた数が 25 を超えることはできません。

- Catalyst Express スイッチ
- 800 シリーズ ルータ
- Unified Communications 500 シリーズ プラットフォーム
- 526 Wireless Express コントローラ
- 521 Wireless Express 自律型アクセスポイント。これは、動作する際に 526 モビリティ コントローラを必要としない、完全な機能が搭載されたスタンドアロンのアクセスポイントです。
- HWIC アクセスポイント。これは高速 WAN インターフェイス カードで、Unified Communications 500 シリーズ プラットフォームで使用可能なアクセスポイントが統合されています。

1 つのコミュニティで管理可能な IP Phone やライトウェイト アクセスポイント(WLAN コントローラによって管理されるアクセスポイント)の数には制限はありません。また、Configuration Assistant で管理可能なコミュニティの数にも制限はありません。

全体のデバイス数 25 台の制限に加えて、次のデバイス タイプごとの制限があります。

- Catalyst Express スイッチ：15 台以下
- 800 シリーズ ルータと Unified Communications 500 シリーズ プラットフォーム：5 台以下
- 526 Wireless Express コントローラ：2 台以下
- 521 自律型アクセスポイントと HWIC アクセスポイントの合計：3 台以下

全体の制限またはデバイス タイプの制限を超えると、コミュニティを管理できません。制限を超過しないよう、デバイスを削除する必要があります。

候補とメンバの自動検出

Configuration Assistant は、まず最初に開始デバイスの IP アドレスと HTTPS/HTTP ポート番号、続いて CDP を使用して、開始デバイスの 4 CDP ホップ以内に存在するコミュニティ候補のリストを作成します。Configuration Assistant は、デバイスに有効な IP アドレスがある限り、複数のネットワークおよび VLAN の中から、候補デバイスとメンバ デバイスを検出できます。検出対象となるためにネットワーク デバイスが満たす必要のある要件のリストについては、「[メンバおよび候補の特性](#)」の項 (P.4-1) を参照してください。



(注)

候補、メンバ、および Configuration Assistant が検出対象とするすべてのネットワーク デバイスにおいて、CDP を無効にしないでください。

検出されたデバイスのリストを必要に応じて編集し、デバイスをコミュニティに追加できます。Configuration Assistant がネットワーク デバイスを検出しなかった場合は、ユーザは手動でデバイスを追加できます。

検出されたデバイスをコミュニティに追加する方法、またはデバイスをコミュニティに手動で追加する方法の詳細は、「[一度に 1 つのデバイスの追加](#)」の項 (P.4-4) を参照してください。

コミュニティ名

コミュニティを作成したら、名前を割り当てる必要があります。名前には、最大 64 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されません。

ホスト名

コミュニティ メンバに対してユーザがホスト名を割り当てる必要はありません。また、Configuration Assistant によりデフォルトで名前が割り当てられることもありません。ただし、Cisco IOS は、ホスト名のないスイッチには、「Switch」というホスト名を割り当てます。したがって、混乱を避けるため、スイッチにホスト名を割り当てることが望ましい場合もあります。

パスワード

コミュニティに接続すると、Configuration Assistant は、そのコミュニティのメンバにすでに割り当てられている一意のパスワードを入力するようプロンプトを表示します。Configuration Assistant は、これらのパスワードを使用して他のデバイスへの接続を試行します。パスワードの入力を求められるのは、前回入力したパスワードがデバイスで使用できない場合のみです。

たとえば、コミュニティに 10 のメンバがあり、そのうち 5 つのメンバが 1 つのパスワードを共有していて、残りの 5 つのメンバで別のパスワードを共有しているとします。この場合、それぞれを 1 回ずつ、合計 2 回パスワードを入力するよう求められます。Configuration Assistant では、パスワードは PC に保存されません。そのため、コミュニティへの接続を試行するたびに、パスワードの入力が求められます。

通信プロトコル

Configuration Assistant では、デバイスとの通信に HTTPS、HTTP、および Telnet を使用します。隣接デバイスが検出された場合、およびデバイスが手動でコミュニティに追加された場合、HTTPS の使用が試行されます。HTTPS が失敗した場合、HTTP が試行されます。

HTTPS ポートは 443 に固定されており、HTTP ポートはデフォルトで 80 に設定されています。コミュニティを作成する際には、別の HTTP ポートを指定できます。その後は、HTTP ウィンドウを使用して HTTP ポートを変更できます。HTTPS と HTTP のポート設定はいずれも、同一コミュニティのメンバすべてに対して同じである必要があります。

コミュニティの情報

Configuration Assistant では、IP アドレス、ホスト名、通信プロトコルなど、個々のデバイスの情報がすべてローカル PC に保存されます。コミュニティへの接続時には、ローカルに保存されたデータによって、メンバデバイスの再検出が行われます。

別の PC を使用して既存のコミュニティを管理しようとしても、メンバデバイスの情報はいずれも使用できません。そのコミュニティを再び作成し、同じメンバ デバイスを追加する必要があります。

コミュニティの作成

次の方法でコミュニティを作成できます。

- コミュニティにデバイスのグループを追加する。
- 一度に1つのデバイスを追加する。

デバイスがコミュニティに適切に含まれていることを確認する必要があります。このセクションでは、これらのタスクを実行する方法を説明します。

デバイスのグループの追加

候補デバイスのリストを作成し、それらのデバイスをコミュニティに追加するには、次の手順に従います。

1. Configuration Assistant を起動し、[接続] ウィンドウで [コミュニティの作成] を選択します。[接続] をクリックします。
2. [コミュニティの作成] ウィンドウで、コミュニティの名前を入力します。
3. HTTP ポートをデフォルトの 80 以外に設定するには、[詳細] ボタンをクリックします。使用する HTTP ポート番号を入力します。[OK] をクリックします。
4. 起点 デバイスの IP アドレス、アドレス範囲の開始 IP アドレスと終了 IP アドレス、またはサブネットの IP アドレスを入力します（起点 IP アドレスを使用した場合、そのアドレスを持つデバイスの検出と、接続されたデバイスの検出を暗黙的に実行します）。
5. 検出プロセスを開始します。
6. デバイス リストで、削除する候補デバイスの選択を解除し、[削除] をクリックします。

一度に1つのデバイスの追加

一度に1つのデバイスを追加するには、次の方法のどちらかを使用します。

- [コミュニティの作成] ウィンドウで、単一のデバイスの IP アドレスを入力し、検出プロセスを開始します。
- トポロジ ビューで、候補アイコンを右クリックし、[コミュニティに追加] を選択します。

コミュニティの確認

コミュニティを確認するには、次の手順に従います。

1. [モニタ] > [ビュー] > [トポロジ] を選択し、トポロジ ビューを表示します。
2. [モニタ] > [レポート] > [インベントリ] を選択し、トポロジ ビューを表示します。
デバイスの型番、シリアル番号、ソフトウェアバージョン、IP 情報、位置といった情報が要約されています。
3. [モニタ] > [ビュー] > [前面パネル] を選択し、前面パネル ビューを表示します。



INDEX

C

- CDP、コミュニティ内での使用 4-2
- Cisco Discovery Protocol
 - 「CDP」を参照
- Configuration Assistant
 - GUI 2-1
 - インストール
 - 手順 3-2
 - 要件 3-1
 - 起動 3-2
 - 紹介 1-1
 - 接続 3-2
- Configuration Assistant のインストール
 - 手順 3-2
 - 要件 3-1
- Configuration Assistant の起動 3-2
- Configuration Assistant の接続 3-2

I

- IP アドレスの要件 4-1

え

- エキスパート モード 2-9

お

- オンライン ヘルプ 2-10

か

- ガイド モード 2-8

き

機能

- エキスパート モード 2-9
- オンライン ヘルプ 2-10
- ガイド モード 2-8
- 機能バー 2-4
- 前面パネル ビュー 2-3
- ツールバー 2-5
- 特権レベル 2-9
- トポロジ ビュー 2-2
- メニューバー 2-4
- 機能バー 2-4

け

- 検出、コミュニティ
 - 「自動検出」を参照

こ

コミュニティ

- アクセス 4-2
- 確認 4-4
- 管理、ローカル PC 4-3
- 計画の注意事項
 - 情報の識別 4-3
 - パスワード 4-2
 - ホスト名 4-2
- 構成 4-1
- 候補
 - 検出 4-4
 - 「コミュニティ メンバ」を参照
 - 追加 4-4
 - 定義済み 4-1
 - メンバの自動検出 4-2 4-4
 - 要件 4-1
- コミュニティ情報 4-3
- コミュニティ名 4-2

- 作成 4-4
- 識別情報の保存 4-3
- 自動検出 4-2 4-4
- 制限 4-1
- 通信プロトコル 4-3
- 特性 1-2
- メンバ
 - 自動検出 4-2 4-4
 - 追加 4-4
 - ホスト名 4-2
 - 要件 4-1
 - メンバの追加 4-4
 - 利点 1-2
- コミュニティにおけるデバイスの制限 4-1
- コミュニティの制限 4-1
- コミュニティへのアクセス 4-2

- し

- 自動検出
 - 「CDP」を参照
 - コミュニティ内 4-2
 - 注意事項
 - CDP 非対応デバイス 4-4
 - 接続 4-2
 - メンバの追加 4-4

- せ

- セットアップ、デバイス 3-3

- た

- 対話モード 2-8

- つ

- 通知、イベント 3-3
- 通知、ネットワーク イベント 3-3
- ツールバー 2-5

- て

- デバイスのセットアップ 3-3

- と

- 特権レベル 2-9
- トポロジ ビュー 2-2

- は

- パスワード、プロンプト 4-2

- ほ

- ポート、デバイスの接続設定 2-9
- ホスト名、割り当てる理由 4-2

- め

- メニューバー 2-4
- メンバ デバイス、追加 4-4